

# 2016年度 第1号 まるぐちニュース

## クレーン

### 連続作業による作動油温度上昇の注意



連続作業

作動油温度上昇

作動油は高温になると劣化が著しく進行します。カーゴクレーンなどは、特に定期交換が大切です。2年毎の交換をおすすめします。 担当 中島

作動油が高温になると、油圧ホースやシール類が熱で損傷する恐れがあります。作動油の温度が80℃を超えたときは温度が下がるまで作業を中止してください。特に高揚程でのフック巻上げ及び巻下げ操作やアクセルを吹かした状態でのクレーン作業を連続して行くと、作動油の温度が上がりがやすくなるので注意してください。サーモラベル（オプション）を貼り付けることで作動油の温度を確認することができます。

## 建機

### 自己診断機能付き液晶ディスプレイ

バックホーの便利な機能を紹介いたします。



日本語表示なので、こんなにわかりやすい。

エンジン 1234 回転

燃料を給油 印

1234.5 時間

1000 2000 r/min

表示例

注意事項、故障診断、対処方法などの状況を、わかりやすい日本語で表示するので、現場からサービスマンへの伝達がしやすくなっています。また、不具合の症状が消えても故障履歴が表示でき、点検時の省力化が図れます。

その他、燃料計が動かなくなった時など「燃料センサ異常」「燃料センサ断線」などと表示され、整備する側にとっても早く整備できるようになっています。

機械の調子が悪くなった時など、この機能の表示の方法を説明いたしますので、サービスマンに連絡してください。 担当 若林

## 自動車

### 車輪脱落を防ぐ2つのポイント

タイヤ交換やホイール脱落時は要注意！

担当 藤森



POINT 1 規定トルクで、正しく締付け

規定の締付けトルク

締付け方式には、球面座で締付けるJIS方式と平面座で締付けるISO方式があります。「規定の締付けトルク」で確実に締付けます。

※ホイールナットの締付け不足、締め忘れ防止のため、ナット締付け作業時(終了後)、「規定の締付けトルク」で確実に締付けたことを確認するよう、お願いします。



POINT 2 50~100km走行後は、しっかり増し締め

締付け後の初期なじみによって、締付け力が低下します。ホイール取付後、50~100km走行後を目安に「規定の締付けトルク」で増し締めを行います。



JIS方式(球面座)ダブルタイヤの場合  
①アウターナットを締めます。②インナーナットを締めます。③アウターナットを締めます。  
この図は右側タイヤの場合です。

## 編集後記

### 世界文化遺産国宝 『姫路城』



しろまるひめ

45年ぶりの大天守の保存修理が完了して、平成27年3月からシラサギが羽を広げたような優美な姿を再び見せてくれています。

姫路城は法隆寺とともに1993年12月、日本で初めてユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の世界文化遺産に登録され、日本に現存する城の中でも世界的に高い評価を受けています。

スマホに「[姫路城大発見アプリ](#)」をダウンロードして場内の看板にかざすと、「しろまるひめ」のナビゲーターが出てきたりして、大天守の構造や当時の戦の映像が見えたりします。子どもたちも楽しむことができますよ！ 担当 三宅